

# THORENS<sup>®</sup>

## TD403DD



取扱説明書



# 目次

# Page

はじめに	4
使用上のご注意	4
各部の名称	5
組み立て	7
ダストカバーの取り付け	7
設置と調整	7
トーンアームとカートリッジ	8
電源の接続	9
アンプへの接続	9
レコード再生	10
メンテナンス	10
針の交換	10
重要な推奨事項	11
ターンテーブルの輸送	11
エキスパート・セッティング	11
カートリッジの交換	11
異なる質量のカートリッジへの対応	12
アジマス調整	13
トーンアームの高さ調整	14
仕様	15

## はじめに

トーレンス TD403DD ターンテーブルをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機の性能を最大限に引き出すために、この取扱説明書を注意深くお読みください。さらにご不明な点がございましたら、お気軽に最寄りのトーレンス正規販売店にお問い合わせください。

## 使用上のご注意

ダストカバーの上には物を置かないでください。特に演奏中に振動によりノイズが発生したり、物が落ちたりすることがあります。

の機器の上に置かないでください。変色、変形、故障の原因になります。

また、振動のある場所や、ほこりや寒さ、湿気の多い場所にも置かないでください。

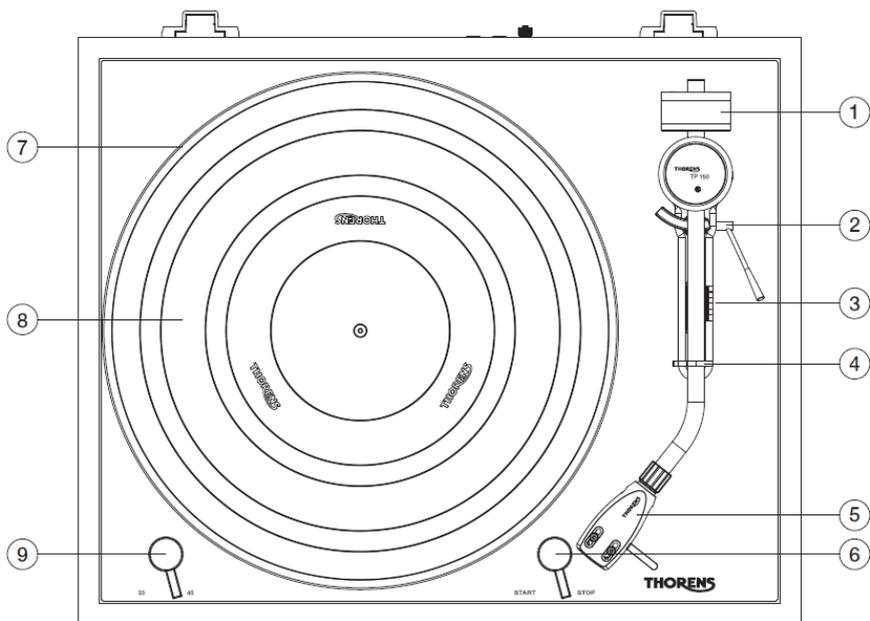
動作中は本体が熱くなることがありますので、常に十分な換気スペースを確保してください。本機を設置する際は、放熱をよくするため、他の機器や壁との間に少しスペースを空けてください。

演奏中はレコードが回転しますので、本機を動かさないでください。演奏中は本機を持ち上げたり移動したりしないでください。レコード、針、カートリッジ、または本機を損傷する恐れがあります。

本機を移動する前には必ずレコードを取り外してください。プлатターにレコードを載せたまま本機を移動すると、レコード、針、カートリッジを損傷したり、故障の原因になったりすることがあります。

キャビネットとダストカバーの表面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

## 各部の名称



### 1. カウンターウェイト

トーンアーム後部のあるカウンターウェイトは、アームのバランスを取り、使用するカートリッジの正しい針圧を調整するために使用されます。

### 2. リフトレバー

リフトレバーは、トーンアームをレコード盤に下ろしたり、上げたりするのに使用します。

### 3. アンチスキューティング調整

ここでアンチスキューティングを調整します。

### 4. ロック付きトーンアームサポート

トーンアームはサポートに固定できます。

### 5. 交換可能ヘッドシェル

ハーフインチマウントのカートリッジに対応します。ヘッドシェルは、標準のSMEマウントを備えた他のヘッドシェルと交換できます。

## 6. START/STOP スイッチ

「START」でモーターがオンになり、プラッターが回転し始めます。「STOP」で再生が停止します。

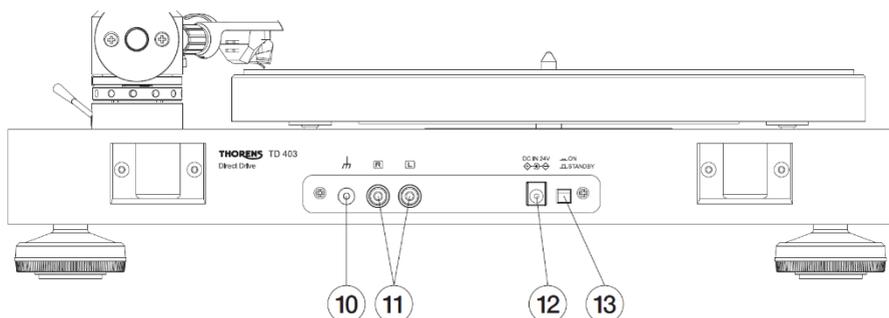
## 7. アルミダイキャスト製プラッター

## 8. ゴム製プラッターマット

## 9. スピードスイッチ

33.3 rpm と 45 rpm を切り替えます。

## 背面



## 10. アースネジ (接地)

ハム干渉を防ぐために、別導線を使用してアンプのアースネジに接続します。

## 11. RCA ジャック

アンプへの信号ケーブルの接続。色分けに注意してください:

赤 = 右チャンネル、白 = 左チャンネル。

## 12. 電源端子 (DC IN 24V)

付属の電源アダプターからのケーブルをここに差し込みます。

## 13. 電源メインスイッチ

ユニットのオン/オフを切り替えます。操作中は、スイッチを「オン」の位置にする必要があります。

## 組み立て

### ダストカバーの取り付け

1. 2つのヒンジとダストカバーを開梱します。キャビネットを傷つけないように注意してください。
2. ヒンジにはダストカバーに取り付けるクリップ側と本体に差し込むタブ側があります。
3. 2つのヒンジをダストカバーの背面の指定された場所にカチッと音がするまで差し込みます。
4. 次に、ヒンジ付きのダストカバーを TD403DD の背面にあるスロットに差し込みます。



### 設置と調整

開梱後、わずか数ステップですぐに使用できます。

ターンテーブルが滑りにくく、水平な安定した場所に置きます。

プラッターを慎重に回転軸に差し込みます。プラッターは直接駆動されるため、プラッターを取り付けるためにこれ以上の手順は必要ありません。次に、プラッターを手で数回回転させて、スムーズにノイズなく動作することを確認します。

付属のゴムマットを溝のある面を上にしてプラッターの上に置きます。

あらかじめカートリッジが取り付けられているヘッドシェルを、トーンアームの前面に、キャップナットを回して固定します。このときヘッドシェルの小さなガイドピンが真上に向いた状態でトーンアームに差し込みます。

## トーンアームとカートリッジ

TD403DD を正しく動作させるには、トーンアームにいくつかの調整を行う必要があります。付属のオルトフォン 2M Blue カートリッジは、あらかじめ適切に調整されています。

まずカウンターウェイトを取り付け、針圧とアンチスケーティングを調整します。トーンアームのカウンターウェイトは輸送のために個別に梱包されています。必要なすべての値を正しく調整するには、以下の手順に従ってください：

1. カウンターウェイトを、目盛りを手前にしてトーンアームの後ろの端にねじ込みます。
2. アームベースのアンチ・スケーティング調整ウェイトをできるだけ手前にスライドさせます。
3. リフトレバーを前方に倒し、リフターを下げます。
4. カートリッジのスタイラスガードを取り外し、トーンアームをアームレストから外します。
5. 指かけを使ってトーンアームをプラッター側に慎重に動かします。針がプラッターやシャーシに触れないように注意してください。
6. トーンアームがふわっと浮き上がりプラッターと平行になるまでカウンターウェイトを回します。アームが上がっている場合は、カウンターウェイトを反時計回りに少し回し、下がっている場合は、バランスが取れるまで逆方向に回します。
7. トーンアームをアームレストに戻し、固定します。
8. カウンターウェイトには、グラム単位で針圧の目盛りがついたリングがあり、ウェイトとは独立して動かすことができます。次に、ウェイト全体を回さず



に、このリングだけを、0 が一番上になるまで回します。

9. 希望の針圧を設定するには、対応する数値が一番上になるまでカウンターウェイト全体を回します。付属のオルトフォン 2M Blue カートリッジの適正針圧は 1.8g です。
10. 次に、後部のトーンアームベースと前部のアームレストの間のスロット内のアンチスケATINGのウェイトを針圧と同じ値に移動します。長い目盛りは、0.5 の増加を示します。調整するには、小さなドライバーを使用するのが最適です。

**重要:** アンチスケATINGの手前の基本位置は値 0.5 です。これより針圧に合わせて調整してください。

これでトーンアームの調整はすべて完了です。

トーンアームの高さ (VTA) とアジマス进行调整する手順については、このドキュメントの後半の「エキスパート設定」で説明します。

## 電源の接続

付属の AC アダプターを本機の背面にあるソケットに接続し、次に電源コンセントに接続します。背面のソケットの隣にあるメインスイッチを「オン」の位置に切り替えます。

## アンプへの接続

TD403DD をアンプに接続するための RCA ジャックが背面パネルに 2 つあります。付属のケーブルを使用して、これらのジャックをアンプのフォノ入力に接続します。赤色のコードは右チャンネル、白色または黒色は左チャンネルを意味します。

**重要:** 工場ではプリインストールされている Ortofon 2M Blue カートリッジにはフォノ MM 入力が必要です。ラインレベル入力 (CD、AUX、TUNER などの指定) は、TD403DD でのレコード再生には適していません。

## レコード再生

1. レコードをプラッターに置き、左側のレバーで適切な再生速度（33.3 または 45rpm）を選択します。小型の 45rpm シングルの場合は、付属のシングルアダプターが必要です。
2. トーンアームのロックを解除し、アームリフターが上がっていることを確認します。
3. 右前にあるレバーでプラッターを始動します。
4. トーンアームを手でレコード盤上に動かし、針を目的の位置の上に来るようにしてから、アームリフターを前に倒してアームを下げます。
5. 再生が始まります。再生が終了したら、リフターでアームを上げてサポートに戻します。右前のレバーで停止するとモーターがオフになります。必要に応じて、カートリッジの針カバーを取り付けます。
6. 長期間使用しない場合は、背面のスイッチで電源をオフにしてください。

## メンテナンス

### 針の交換

以下は、付属の Ortofon 2M Blue カートリッジおよび 2M シリーズの他のモデルに関するものです。

- 針カバーを取り付け、ヘッドシエルのキャップナットを緩めてトーンアームチューブから取り外します。
- 針カバーを再度取り外し、交換針部分を前方に引き抜きます。
- 新しい交換針をカートリッジ本体にスライドさせます。
- 針カバーを再度取り付け、ヘッドシエルをトーンアームに再度固定します。
- 交換針が同じタイプである場合は、トーンアームの設定を変更する必要はありません。

針は、約 500 時間の使用後にチェックし、必要に応じて交換する必要があります。この点について不安な場合は、カートリッジの交換を販売店にお問い合わせください。

## 重要な推奨事項

貴重なレコードは、市販の静電気防止ブラシやレコード洗浄機で定期的に洗浄してください。針先がきれいであることを確認してください。これを行うには、市販の小さなブラシを使用して、針先の裏側から表側に向かって慎重にブラッシングするのが最善です。

## ターンテーブルの輸送

輸送には、本機の元の梱包箱を使用するのが最適です。

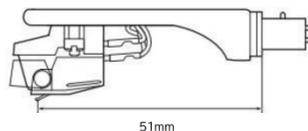
針カバーを取り付け、トーンアームをサポートにロックします。長距離輸送または発送の場合は、ヘッドシェルを緩めて取り外します。次に、カウンターウェイトを取り外し、アンチスケーティング値をゼロに設定します。更に、プラッターを取り外して、梱包箱の底に収納します。ダストカバーをヒンジから持ち上げて、しっかりと梱包します。

## エキスパート・セッティング

### カートリッジの交換

カートリッジ一式を別のモデルに交換するには、以下の手順に従ってください。

- 針カバーを装着し、ヘッドシェルコネクターを緩め、トーンアームから引き抜きます。
- 4色のリード線をカートリッジのピンから引き抜き、シェルとカートリッジを固定しているネジを外します。
- 新しいカートリッジをヘッドシェルに装着し、ケーブルを接続します。(配線は次ページを参照) ネジは仮止めにしてカートリッジは動く状態にします。
- 右図のように、ヘッドシェル取付端面から針先の位置を51 mmになるように動かし、取り付けると、所定のオーバーハングに設定できます。



- ・ シェルとカートリッジを固定するネジをしっかりと締めてください。

カラーケーブルの配線:

赤 = 右+

緑 = 右-

白 = 左+

青 = 左-

カートリッジ全体を交換する場合は、上記のようにトーンアームを調整する必要があります。

### 異なる質量のカートリッジへの対応

TP150 トーンアームのカウンターウェイトは、幅広くカートリッジに対応するために、2つのパーツで構成されています。2つの部品は、簡単に緩めることができる2本のネジで接続されています。ただしアームへの、



てこの影響を最小限に抑えるために、トーンアームの軸受にできるだけ近くなるようにカウンタウェイトを調整することをお勧めします。したがって、必ず最初に2つのウェイトを接続した状態でアームのバランスが取れるかどうかを確認してください。これが不可能な場合は、ウェイト後部のネジを外します。両方のウェイトを組み合わせれば、シャルを含み約27.8gまでのカートリッジでバランスを取ることができます。

## アジマス調整

アジマスは、レコードの溝に入るダイヤモンドの針の正しい垂直角度です。つまり、正面から見て、ダイヤモンドはレコードに対して正確に垂直でなければなりません。



これを確認する最も簡単な方法は、カートリッジのヘッドを下げた状態で鏡を使用することです。カートリッジと鏡像はねじれの無い直線を形成する必要があります。

あるいは、ヘッドシェルとカートリッジの傾いた位置が直接見えるように、市販の専用調整ゲージを使用することをお勧めします。正しい位置からのずれを修正するには、トーンアームを回転させます。

これを行うには、小さなマイナスドライバーで、アームベースのカバーを緩め、その下中央にある十字ネジを少し緩めます。

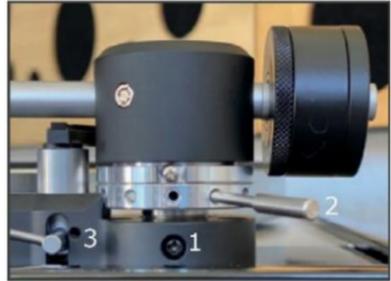
ご注意: 緩めるのはほんの少しだけにして、絶対に外さないでください。

ネジを緩めると、アームチューブを両方向に数度回転させることができます。その際、必ず鏡や調整ゲージで現在位置を確認してください。

方向に動かさず、横方向にのみ動かしてください。

## トーンアーム高さ調整

カートリッジの交換にはアームの高さの修正が必要になる場合があります。経験則として、レコードを再生するときは、横から見てアームをレコードの表面と平行にする必要があります。そうでない場合は、新しいカートリッジが高いか低いため、それに応じてアームの高さを下記の手順で調整する必要があります。



これには、通常のプラスドライバーと付属の金属ピンが必要です。チェック目的には、三角形または平行線が印刷された透明なテンプレートが適しています。

まず、慎重にネジ(1)を少し緩めます。次に、ピン(2)を使用してトーンアームが希望の高さに達するまでリングを必要な方向に回転させます。その後、ネジ(1)を再度締めてください。

場合によっては、アームを下げてリフトベンチに乗ったままであったり、十分に上げられなかったりするために、後でリフターの調整が必要になる場合もあります。

ネジ(3)を緩めるとリフターの高さを調整できます。

## 仕様

ドライブ	ダイレクトドライブ方式
モーター	DC モーター
回転数	33-1/3 - 45 rpm
速度偏差	±0.33%
ワウ・フラッター	0.15 %
SN比	67dB (A-weighted, 20kHz LPF) 60dB (unweighted, 20kHz LPF)
プлатター	アルミ・ダイキャスト
プлатター直径	300mm
トーンアーム TP150	
型式	ユニバーサル J 字型・スタティックバランス型
有効長	232.8 mm
有効質量	15 g
適応カートリッジ質量	Max 27.8 g(ヘッドシェルを含む)
オーバーハング	17.8 mm
アンチスケーティング調整	ルビー・ベアリングに通した糸でガイドされる カウンターウェイト
カートリッジ	
形式	オルトフォン 2M Blue, MM 型
針構造	楕円針、無垢ダイヤモンド
周波数特性	20Hz - 25kHz
チャンネルセパレーション	>25dB / 1kHz
チャンネルバランス	1.5 dB / 1kHz
垂直トラッキング角	20°
負荷インピーダンス	47kΩ
出力電圧	5.5mV (1kHz, 3.54cm/sec.)
適正針圧	1.8g ±0.2g
カートリッジ質量	7.2g
ヘッドシェル質量	13.5g(ネジ、ナット、ワイヤーを含む)
アナログ出力	
端子	RCA ピンジャック(金メッキ)
電源	AC 100 - 240V, 50/60Hz
消費電力	最大 36 W
外形寸法 (W x D x H)	420 x 355 x 139mm
質量	9.7kg

トーレンス日本総代理店 株式会社PDN

**PDN**

〒240-0005 神奈川県 横浜市 保土ヶ谷区 神戸町 134  
横浜ビジネスパーク ノーススクエア II-5 階